

平成 24 年度 委員会行政視察実施報告書

委 員 会 名	議会広報特別委員会
参 加 委 員	久保田由夫 小坂井二郎 松山賢太郎 池田総一郎 半田大介 土屋亮 児玉将男 土屋陽一 内堀勝年 委員長、副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

<p>上田市での課題</p> <p>上田市自治基本条例第 8 条第 4 項に掲げる「市議会が持つ情報を積極的に提供し、意思決定の経過と内容を適切に市民に説明することにより、開かれた議会運営に努める」ために、さまざまな工夫が必要である。最小の経費で最大の成果を上げるにはどうすればよいか、先進自治体の取り組みも参考にして、上田市議会として積極的な施策を展開していく。</p> <p>視察目的</p> <p>埼玉県鶴ヶ島市</p> <p>インターネット議会中継について</p> <p>議会報告会について</p>

2 実施概要

実 施 日 時	視 察 先	埼玉県鶴ヶ島市	
平成 24 年 8 月 6 日 10 時 ~ 11 時 45 分	担当部局	議会事務局	
視察事業名	インターネット議会中継 議会報告会		
報 告 内 容	1 視察先の概要		
		鶴ヶ島市	上田市
	人口	70,003 人	159,604 人
	面積	17.73 km ²	552.00 km ²
	議員定数	18	31
	委員会数	常任・議運 4、その他 4	常任・議運 5、特別委員 会 2
	議員報酬	議長 431,000 円 議員 327,000 円	議長 521,000 円 議員 425,000 円
	政務調査費	年額 120,000 円	年額 240,000 円
	議会事務局職員	5 人	8 人
		2 視察先の特徴	

東京 45 km圏に位置し、東は川越市、北は坂戸市に隣接。畑作中心の純農村だったが、関越道の開通、東武東上線若葉駅の開設などにより、人口が急増。91年に鶴ヶ島市を施行。圏央道の開通により、関越道と市のほぼ中央で交わり、2つのインターを持つ首都圏の重要な交通拠点となっている。

3 視察事項について

インターネット議会中継

- ・平成 22 年 3 月より、本会議のインターネット配信を開始した。
（常任委員会は平成 24 年度より実施）
- ・導入のきっかけは、それまで進めてきた議会改革について、平成 19 年 4 月の議員選挙後、議会内に議会改革を検討する組織を設置したことによる。
- ・直接的には、平成 20 年 3 月に議会傍聴規則の一部改正により、撮影や録音等を議長の許可制にした。このことを受けて、議会として本会議と常任委員会を U S T (Ustream・ユーストリーム) を活用して配信を始めた。
- ・導入経費や運用経費については、最初は仕様書を作成できなかったため、4 社による提案方式（プロポーザル方式）を受ける形をとった。導入経費は、577,300 円。運用経費は、平成 23 年度は 609,840 円、平成 24 年度より常任委員会も対象としたので 33 万円上乗せになる。
- ・撮影と録音は議会事務局職員 2 人が行い、著作権は市に帰属する契約となっている。本会議は、カメラ 3 台で、常任委員会は 1 台の定点で撮影している。

議会報告会

- ・平成 20 年 4 月に、埼玉県内では初めて「議会報告会 2 0 0 8」を実施した。
第一回目は、市役所のロビーで全議員が参加して行い、参加者は約 260 人であった。
- ・その後も毎年 4 月に実施しており、今年で第 5 回目となった。
三回目からは、議員が二班に分かれて市内 2 カ所で開催、さらに四回目からは、テーマを決めて実施している。
ちなみに、四回目のテーマは「災害に強いまちづくり」、第五回目は「地域・絆・支えあい」である。
- ・参加者は、第一回約 260 人、第二回約 80 人、第三回約 80 人、第四回約 140 人、第五回約 110 人であった。
- ・議会報告会を取り組む中で重点を置いているのは、休憩時間にアンケートを書いてもらい、アンケート内容を中心とした意見交換ができるようにしている。
- ・この議会報告会も、U S T (Ustream・ユーストリーム) を活用して配信している。



視察会場にて

考 察

(まとめ:市政に活かせると思われる事項等)

インターネット議会中継

インターネット議会中継については、上田市議会でも議会改革の一環として検討事項となっているが、鶴ヶ島市の状況を考えると導入する上でハードルは低いように思える。

鶴ヶ島市との違いは、上田市議会（旧丸子町議会含む）はケーブルテレビにより、20数年前から生中継と録画中継が実施されていること。

インターネット議会中継に対する市民要望の状況、費用対効果などを十分検討する必要がある。

本会議は従来どおりケーブルテレビ、常任委員会は新規にインターネット中継ということを検討していくことも考えられる。

議会報告会

議会報告会についての広報が、議員名に加えて議員の顔写真を掲載しており、上田市議会でも検討材料としたい。

第四回からはテーマを決めて実施しているとのことであるので、上田市議会としても今後の課題としたい。

議会報告会の様子も映像配信しているとのことである。参加者の了解も必要であるが、このことも今後の課題としたい。

議会報告会の周知や参加者の確保には苦勞されているとのこと。上田市議会も昨年度の参加者の状況を分析して、より広い市民の参加者を確保することが課題。

その他

議会基本条例は、平成19年12月より検討を始め、平成21年3月に制定。

「議会改革のあゆみ」を時系列で48項目まで整理済み。

平成20年3月より、市議会のホームページに議員の議案等への賛否の掲載を始めた。

平成 2 4 年度 委員会行政視察実施報告書

委員会名	議会広報特別委員会
参加委員	久保田由夫 小坂井二郎 松山賢太郎 池田総一郎 半田大介 土屋亮 児玉将男 土屋陽一 内堀勝年 委員長、副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

(2) 福島県会津若松市 (8 月 7 日)
議会報告会について

2 実施概要

実施日時	視 察 先	福島県会津若松市																								
平成 24 年 8 月 7 日 9 時 30 分 ~ 11 時 15 分	担当部局	議会事務局																								
視察事業名	議会報告会 (市民との意見交換会)																									
報告内容	<p>1 視察先の概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>会津若松市</th> <th>上田市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>126,125 人</td> <td>159,604 人</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>383.03 km²</td> <td>552.00 km²</td> </tr> <tr> <td>議員定数</td> <td>30</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>委員会数</td> <td>常任・議運 5、特別委員会 1</td> <td>常任・議運 5、特別委員会 2</td> </tr> <tr> <td>議員報酬</td> <td>議長 553,000 円 議員 481,000 円</td> <td>議長 521,000 円 議員 425,000 円</td> </tr> <tr> <td>政務調査費</td> <td>年額 420,000 円</td> <td>年額 240,000 円</td> </tr> <tr> <td>議会事務局職員</td> <td>11 人</td> <td>8 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 視察先の特徴</p> <p>福島県は、東に阿武隈高地、西に奥羽山脈が南北に縦断し、気候・風土が異なり、太平洋側から「浜通り」、「中通り」、「会津」の 3 地域に区分されている。</p> <p>会津若松市は、会津地方の中心都市であり、古くから城下町として栄えた。白虎隊や戊辰戦争に象徴される鶴ヶ城や飯盛山など名所・旧跡が残り、観光の目玉となっている。</p> <p>酒、漆器などの地場産業、IC 関連先端産業が集積する工業都市としても発展している。</p>			会津若松市	上田市	人口	126,125 人	159,604 人	面積	383.03 km ²	552.00 km ²	議員定数	30	31	委員会数	常任・議運 5、特別委員会 1	常任・議運 5、特別委員会 2	議員報酬	議長 553,000 円 議員 481,000 円	議長 521,000 円 議員 425,000 円	政務調査費	年額 420,000 円	年額 240,000 円	議会事務局職員	11 人	8 人
	会津若松市	上田市																								
人口	126,125 人	159,604 人																								
面積	383.03 km ²	552.00 km ²																								
議員定数	30	31																								
委員会数	常任・議運 5、特別委員会 1	常任・議運 5、特別委員会 2																								
議員報酬	議長 553,000 円 議員 481,000 円	議長 521,000 円 議員 425,000 円																								
政務調査費	年額 420,000 円	年額 240,000 円																								
議会事務局職員	11 人	8 人																								

会津ブランドを活かした「おもてなしの心」によるまちづくりを展開し、観光誘客と新事業の創出により経済の活性化を図っている。

3 視察事項について

議会報告会（市民との意見交換会）

議会基本条例の施行（平成20年6月）に基づき、平成20年8月より「市民との意見交換会」を開始した。

これまで年間二回（5月と11月）に実施し、本年5月で8回目が終了した。

本年5月の場合、5月9日～16日の8日間、市内15カ所で実施した。議員を5班に分けて各班が3地区を担当した。

参加者への資料は、議会が発行している「あいづわかまつ広報議会」、所要時間は90分～105分、参加者へのアンケートは実施しない。

「市民との意見交換会」で出された要望等は、「広報広聴委員会」において、内容に応じた仕分けを行い対処している。

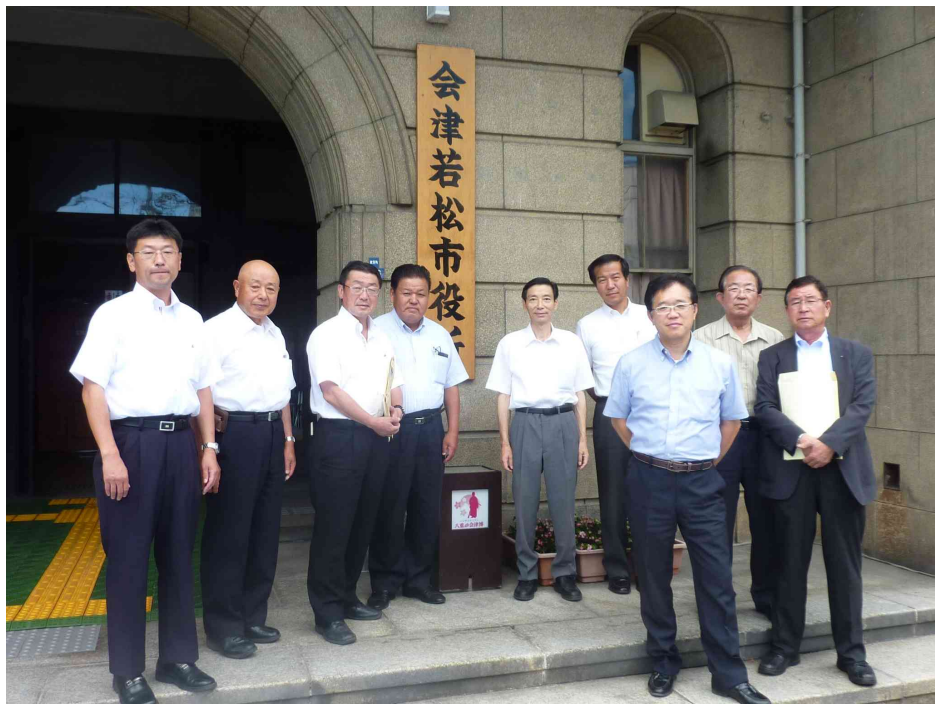
「市民との意見交換会」の位置づけは、会津若松市議会基本条例の第12条「議員間討議による合意形成」、第13条「政策討論会」に規定する政策形成サイクルの起点としている。

「市民との意見交換会」として、分野別意見交換会を平成20年9月より実施している。これは、上田市議会で実施している常任委員会による各種団体との懇談会の開催に合わせて、全議員に出席要請するもの。

その他

議会基本条例の制定のきっかけは、平成19年5月に行われた正副議長選挙において候補の公約として「議会改革」を掲げ、それぞれ当選したことによる。

政策課題を調査研究するために、常任委員会とは別に全体会（議員全員）、分科会（4分科会で、第1が総務委員会、第2が文教厚生委員会、第3が産業経済委員会、第4が建設委員会）このほかに議会制度検討委員会を設けている。いずれも議会内の任意組織。



<p>考 察 (まとめ:市政に活かせると思われる事項等)</p>	<p>「市民との意見交換会」で出された市民からの意見や要望を、市議会として調査研究し、政策づくりに結び付ける努力をしている点は参考にしたい。</p> <p>議会改革のトップランナーである会津若松市は、平成 22 年度に 168 件、1,325 人、平成 23 年度は 97 件 809 人の行政視察を受け入れ、研修目的の 8 割は「議会改革」であった。</p> <p>これは、第四回マニフェスト大賞最優秀成果賞や第五回優秀議会改革賞受賞によるところも大きいと思われる。さらに、会津若松市議会として「議会からの政策形成」という書籍(定価 2,500 円 ぎょうせい)を発行するなど「議会改革」を自ら発信している。</p> <p>議会改革は、市民とともに歩む議会を進めることであるが、行政視察の調査対象ともなることから、上田市議会としても精力的に進めるとともに情報発信にも力を入れていきたい。</p> <p>会津若松市議会は、これまでやってきたことを議会基本条例に整備し、さらに推進する組織も作っている。</p> <p>上田市議会では、議会機能強化特別委員会で「議会基本条例」の検討を進めているが、参考にできる点も多い。</p>
--------------------------------------	--